

令和4年第19回（定例）高砂市教育委員会 会議録

日時

令和4年11月24日午後1時30分

場所

高砂市役所南庁舎2階会議室2

出席者

衣笠教育長、吉田委員、神尾委員、吉屋委員

欠席者

山名委員

出席事務局職員

永安教育部長、木田教育推進室長、三木教育総務課長、四方生涯学習課長
高橋学校給食課長、福永学校教育課長、太田幼児保育課副課長、北野人事課長

本日の会議に付した事件

議案

- 1 令和5年度高砂市立小・中学校教職員異動方針について
- 2 令和5年度高砂市立幼稚園教員異動方針について
- 3 職員の兼業について

協議事項

- 1 令和4年度高砂市議会12月定例会提出議案に掛かる意見の聴取について
- 2 令和4年度給与改定の概要について
- 3 高砂市学校給食用献立作成委員会設置要綱（案）について
- 4 高砂市学校給食用物資選定委員会設置要綱（案）について

報告事項

- 1 学力向上リーフレットについて
- 2 高砂市就学前教育・保育の計画について
- 3 令和4年度（令和3年度対象）高砂市教育委員会点検・評価報告書について
- 4 高砂市教育委員会事業後援・共催について

その他

- 1 12月の行事予定について

議 事 協議事項 1 令和4年度高砂市議会12月定例会提出議案に係る意見の聴取について

○事務局 (協議事項1について説明)

○教育長 協議事項の2の令和4年度給与改定の概要についても説明いただきます。

議 事 協議事項 2 令和4年度給与改定の概要について

○事務局 (協議事項2について説明)

○教育長 説明は終わりました。給与のほうの関係の分のほうから。補正のほうはちょっとまた後でいただいて、給与関係で何か御質問とかありましたらお願いいたします。よろしいですか。

人事院の勧告と高砂市の両方をお示しいただいていますけど、よろしいですか。特に御質問等はないようですので。ありがとうございました。

一般会計の補正予算の関係で何か御質問ありましたらお願いします。

○委員 9ページの学校保健事業、小学校、中学校と書いてありましたが、これ、中身はどのような中身なんですか。

○事務局 これにつきましては、この小学校、中学校のAEDの購入を今年度予算がございまして、入札した結果、その予算をちょっと大分下回りましたので、その余った分を減額補正させていただいたという形でございます。

○教育長 8ページの図書購入経費の歳入の部分だけあって歳出にはないんですけれども、歳出については5年度に、図書の中身のどのような本を買うかというのは時間がかかりますので、それを選定する時間をいただいて、4年度に歳出に出てくるという予定をしているところです。よろしいですか。

特に御質問等ないようですので、これにつきましては、また12月の定例会のほうにつないでいただきたいと思います。よろしく申し上げます。

議 事 議案 1 令和5年度高砂市立小・中学校教職員異動方針(案)について

○事務局 (議案1について説明)

○教育長 説明いただきましたが、何か御質問や御意見ございますでしょうか。

○委員 お聞きしたいんですけれども、この教職員のこの決まりはあるんですが、もうちょっと柔軟に、例えばすごく減ってしまうというところにもうちょっとやりくりして教員が入れるとかというような方法というのがどうなのか、私もよく分からないのでお聞きしたいんですけど。

例えば、最近ちょくちょく米田校区で担任がいなかったとかいう話を聞くんですよ。

どういふことなのかなと思ひまして校長先生にお聞きしたんですけれど。そうしましたら、基本定数よりも今5人足りないんだというので、担任もないクラスがある。それはみんなで見えていますという。そういう状況ってすごく保護者さんも不安に思われるんですよね。どうなっているのかなということ。どこに言っていったらいいのかなとかいう話をしているので、それはどこにも言っていかないでもらったほうがありがたいということと言っただけなんですけれども。

ただ、本当に親が不安に思ふのは子供も不安に思ひますし、実際ちょっと荒れていたりする学年もあつたりします。ですから、その辺のところをもうちょっと何か都合をつけ合うようなやり方というのができるようにということはどうなんでしょうか。ほかの学校がどれぐらいその状況なのか、ちょっと私、分からないんですけれども、ほかの学校では規定定数全部足りているんでしょうか。それとあと、都合をつけ合うということが可能なのかどうか、ちょっと教えていただけますでしょうか。

○事務局 年度当初、今年度でしたら令和4年度の初め、来年度でしたら令和5年度の初めに関しまして、この人事異動の方針に基づいて、基本的な年数をもって、市全体を見て異動を考えております。その中で、退職者を基にまた新規採用者を県のほうに要望して、その新規採用者を含め市内全体を見てバランスを取ってスタートさせているところで、年度初めに関しましては、バランスを取った状態でスタートさせていただいているところです。

○教育長 この年度末からの異動方針ということで、何かほかに御意見とか。

○委員 異動方針、管理職のところでお聞きしたいんですけれども、若手管理職を積極的に登用するというところと、女性管理職、これって高砂市は結構積極的に推進しておられるんですか。ほかと比べてどんな感じでしょうか。

○事務局 管理職につきましても、退職者に合わせて登用していくというようなことで、現在、女性管理職の割合も、高砂市、正確には他市町と比較した数字がないんですけれども、少ない状態ではないというふうに認識しております。どんどん受ける方が、実際でもその後の主幹教諭であつたり次のミドルリーダーと言われる方たちも男性ばかりというわけではありませんので、女性にも働きかけて、県が推し進めているように女性管理職の育成にはちゃんと力を入れていますので、平均的、それ、劣っているかなというような認識ではありません。

○委員 若手と女性がいいというわけじゃないんですけれど、やっぱりいろんな、先ほどの問題もそうですけれど、柔軟な新たな対策を講じていかないといけないこと、いっぱい出てくると思ふんです。そんな中で、やっぱり若い考え方とか女性の先生のそういう考え方というのが、これが非常に大事になってくると思ふので、この方針にはあるんですけれど、これ、ちょっと積極的に、ベテランの方ももちろん大事なんですけれど、前の表彰のときもそうなんですけれど、やっぱり勤続年数が多い方とかそういう方が評価されて表彰されていくという中で、年齢を重ねて勤続

年数を重ねた人が管理職になっていくというところをちょっと打ち破りながら、これからの新しい時代に対応できるような方を、この方針どおりちょっと積極的にやっていただけたらなと思います。

○教育長 今、委員から言われたみたいに、傾向としては、企業とか市役所とかもそうなんでしょうけど、管理職になりたくないという方が若い方で増えてきて、今、教育現場でも、管理職を志望する方がちょっと減ってきているような傾向があります。ただ、その中で、学校でしたら、教頭先生、校長先生が生き生きと楽しそうに仕事をしている様子を見せてくれと、ちょっと無理なお願いをしながらなんですけど、そういったことで、管理職でも大変なだけじゃなくてやりがいがある姿を見せていただくようなお願いはしています。今後もそういったことを意識して、管理職の先生がそういう役割を果たしながら生き生きと魅力ある活動されているようなこともお願いするとともに、人材をしっかりと養成していくということも考えてまいりたいと思います。よろしく申し上げます。

ちなみに、女性の管理職は今6人ですか。

○事務局 伊保、伊保南、中筋、曾根、米田、米西、阿弥陀、北浜。小学校で6人です。中学校はいらっしゃらないので6人ですね。

○教育長 32人の管理職の中の6人が女性ということは、まだまだこれから女性の管理職の方が出てきてくれると期待しているところなんですけど、現状はそんなところです。ほか、何かございますか。よろしいですか。

議案の1の小学校、中学校の異動方針につきましては承認いただきましたので、この方針に従って、異動、よろしく願いいたします。

議 事 議案 2 令和5年度高砂市立幼稚園教員異動方針（案）について

○事務局 （議案2について説明）

○教育長 説明は終わりました。何か御質問等ございますか。

幼稚園の教員の異動方針については、1園ということで、異動方針という名前、この方針のほう、ネーミングにつきましてもちょっとまた検討する。違和感があるという御意見もありましたので、その辺も。今回はこれでやっていただいて、来年度以降はそういうことも踏まえて考えてまいりたいと思います。

ほかに何かこの園の異動方針について御意見ございますか。

ないようですので、令和5年度の高砂市立幼稚園の教員異動方針もこの案で承認をいただきましたので、これで進めていただければと思います。よろしく願いいたします。

議 事 議案 3 職員の兼業について

- 事務局 (議案3について説明)
- 教育長 説明は終わりました。何か御意見ございますか。
承認いただきましたので、これで進めてください。
-

議 事 協議事項 3 高砂市学校給食用献立作成委員会設置要綱(案)について

- 事務局 (協議事項3について説明)
- 教育長 今、献立作成委員会の説明と献立の選定委員会の説明もございましたけど、何か御質問。
- 事務局 選定委員会はまだです。
- 教育長 献立作成委員会の設置要綱について、何か御意見ありましたら。
第3条の中学校長代表というのは、代表校長じゃなくて、校長の会から出る代表の方1名という理解でいいですかね。
- 事務局 小学校の給食の担当をしていただいております校長先生を代表として1名、中学校もセンターの5中学校の中から1人、給食の献立作成委員会として代表を1人という形をお願いする予定です。
- 教育長 ということですので。
- 委員 中学校長のとこってどこなのでしょうか。
- 教育長 今、2つ一緒に説明していただいて、給食の献立作成委員会の設置要綱と、それから給食センターの学校給食用献立作成委員会。
センターのほうは、中学校の校長ということです。
- 委員 分かりました。
- 教育長 協議事項3の給食用の献立作成委員会、それから給食センターのほうの献立作成委員会、この設置要綱で進めていただくということで了解いただきましたので、よろしくをお願いします。
-

議 事 協議事項 4 高砂市学校給食用物資選定委員会設置要綱(案)について

- 事務局 (協議事項4について説明)
- 教育長 説明は終わりました。何か御質問、御意見等ありますでしょうか。
- 委員 いろいろ似たような感じのがたくさんあるんですけど、これは中学校長代表とか小学校代表とか、いろいろ肩書で書いてあるんですが、実際上は同じ校長とか栄養職員とかが兼務しているんですか。それとも、みんな別の方が担当されているんですか。
- 事務局 先ほどの献立作成委員会とこの物資選定委員会のほうの校長先生の代表は、今のところ同じ方をお願いする予定としております。それぞれの給食の担当の校長として代表を決めていただくという形を取りたいと思います。献立作成委員会で

こういった献立をしたという意図も含みまして物資のほうを選定していきますので、同じ方をお願いしたいと考えております。

○委員 そこはそういう業務の中身が関連しているから、あえて同じ人を充てるということなんですかね。

○事務局 はい。

○教育長 この物資の選定委員会のほうは、公会計化ということで、また今までとは若干違うところもありますか。

○事務局 市の公会計という形で、市の契約規則に基づいて物資のほうを選定していきます。ただ、先ほども申しましたように、給食の物資につきましては、安い価格というのは優先的には選ぶのですけれども、どうしてもやはり子供たちの口に合った物とか、あと、調理しやすい物、そういった物を物によっていろいろと考えていく必要が出てきますので、市のほうでも、調達の要綱を通じまして、この物資選定委員会で選んでいただきたいなというふうに考えています。

○委員 物資の選定のほうなんです。この委員会の中にPTAとか保護者の方も参加してもらうんでしょうか。

○事務局 はい。

○委員 献立とかのほうは、それはないんですか。

○事務局 献立のほうにつきましては、保護者さんからの参加というのは特に今のところないです。物資のほうにつきましては、委員としてではなくて、輪番制で、それぞれ物資選定委員会が年に5回ありますので、そのときに順番に来ていただくようお願いをしようと考えております。来ていただいたときに、委員さんという形ではないのですけれども、やはり選ぶときに、これは子供の評判や、食べやすかったなど、あと、前こういうのがあったと思うのですけどどうでしたかというような、それぞれそういった意見を聞かせていただいております。

○委員 保護者の生の声というか、直接子供からの声も大事だし、あと、なかなかそういう学校の委員会とかそういう子供らのことを、給食なんか特に大事なところですけど、そういうところに参加する機会というのが結構減ってきているので、かといって献立の委員会に保護者が来ても何も分からないと思うのでね。できる限りだけど、積極的にそういう機会に動員をかけて、PTAの役員に選ばれた人で限られてくるとは思うのですけれども、1名、2名ということじゃなくて、何か意見を聴取する会みたいなそんな場を設けていただきたいなと思いますので。今までも給食委員みたいな、その保護者、委員じゃないけれども、そこに参加するというようなことはやっていたんでしょうか。

○事務局 現在、給食会というのがありますので、各学校から1人、給食の担当という形で給食会に出席していただいております。ただ、その中から物資の選定委員会という形で、前は給食会が物資を選んでおりましたので、この物資の選定委員会の委員長という形で保護者の方が参加していただいております。今回からは市の

ほうが選ぶような形になりますので、委員長は校長先生と、あと、副委員長は市の栄養士のほうをさせていただくのですが、保護者の方は固定で1年間というのはなかなか難しいみたいなので、輪番で関係者という形で来ていただいて、小学校につきましては10校ございますので、あと、高中も入れて1年間で1回はその学校の代表として来ていただいて、意見をいただこうというふうに考えております。中学校につきましても、同じように年5回ありますので、各中学校1人来ていただくという形で今は進めています。

○委員 これ、給食のことだけじゃないんですけど、保護者が学校と関わる機会というのをどんどん増やしていくべきじゃないかなと。その辺が足りないところが結構いろんな問題が出てきているし、これからも出てくると思うので、そういったところ、もうそれをされているということなんですけど、人数の面であるとか、そういうところで積極的にやっていただきたいなと思います。

○教育長 ほかに何かございますか。

○委員 これ、ちょっと、不可能なことかもしれないんですけど、年に1回でもいいので全ての子供たちを参加させてもらえたら。1名でもいいですから、自分たちも関わっているという形が取れたらいいかなと思うので、中学校も入れて中学生でもいいんですけど、こういうふうにして給食って献立を考えてこうやってできるとするのも見てほしいですし、何かそういう機会を、無理なお願いだと思いますけど、1回でもつくってもらえればうれしいなと思います。

○事務局 現在、小学校では6年生にリクエストメニューという形でアンケートを取っております。今までの食べた給食の中でもう一度食べたいメニューは何ですかみたいな形を取って、それを3学期に反映しているような形を取っております。なので、直接この会議のほうにはちょっと来ていただいてないのですが、アンケートという形では取っているんで、それは続けていきたいなというふうには考えております。

ただ、この選定委員会のこの場所というか、その場に来るのはちょっと今のところ考えてないのですが、こういった形で選んでいるよとかいうのは何か伝えられたらいいんですけど、またそこは検討していきたいなと思います。

○教育長 子供たちの声は反映しているんですけど、こんなふうに食材を選定して、こんなふうに物資を選定しているんですということに出会わせる機会、その場を見て、その場に出会って、その場で自分の考えもちょっと言える機会があればという委員さんの御提案なんですか。

○委員 そうですね。子供たちが、何か全て魔法使いがいるように出てきて当たり前というんじゃなくて、本当にいろんな人の思いが込められてここに並んでいるよという思いも持ってほしいですし、将来自分たちもそうやって次の世代のためにしていくんだという自覚も持ってほしいんですよ。だから、何かその辺を、なかなかそれを伝える大人との接触が今ないので、自分たちでやっぱり感じてもらえる機

会というのもちよつとでもつくれたらなと思うんですけど。難しいと思いますので、何かほかの方法のほうがいいのかもかもしれません。でも、何かもし可能であれば。

○教育長 事務局のほうから、今回公会計化になるということで、校長先生が委員長になっていただいて、現場のこともよく分かっている中でこういったことを話し合うということを考えているという話がありました。それについて何か御意見ありますか。

○委員 校長先生がどれだけ食育に関心を持たれているかというところになってこようかと思うんですけども、そのところはよく様子を見ていただいたらいいのかなと思います。ちょっと分からないんですが、食に対する関心というのは人によってすごく差がありますので、やっぱり熱心に食べること、子供たちの成長にこれはどう関わるということを感じていただいた上で校長先生が参加していただけたらありがたいなと思いますので、また様子を見ていただいたらいいと思いますので。

○教育長 委員さん、何か。

○委員 同じです。

○教育長 関心を持っていただいてということですか。

○委員 そうですね。持たないといけないと思いますしね。大事な取組ですから、お願いしたいと思います。

○教育長 委員さんもよろしいですか。

○委員 はい。

○教育長 教育委員の皆さんも、その先生に、その辺、関心を持っていただかないと駄目だということもありますし、関心を持っていただいた上でのこの委員会としての役割を担っていただくというようなこともお願いしたいという御意見でしたので、それで進めていただけたらと思います。

ほかに特になければ、これでよろしいですか。

そしたら、この協議事項の4番目の高砂市学校給食用物資選定委員会の設置要綱も、この形で進めてまいりたいということでお願いいたします。

議 事 報告事項 1 学力向上リーフレットについて

○事務局 (報告事項1について説明)

○教育長 説明は終わりました。前回、詳しい報告書も説明させていただいていましたけど、今回は特に保護者の方にも理解いただくような内容のリーフレットを案ですが作っておりますので、御意見等いただけましたら。よろしく申し上げます。

○委員 2点申し上げます。

ずっと何年も同じ調査をしてまいるという返答はしていただいています。御苦労

さまです。毎年同じなので、なかなかリーフレットの表現の仕方とかいろいろ難しいんだと思いますけれども、あえて今年はこのふうになんか力を入れて工夫して作りましたポイント的なことがあれば教えていただきたいのと。

もう1つ、これは保護者の手に渡るんですけども、普通に子供の手を通して渡すだけでは恐らく見ていただけないと思うんですよ。そこで何らかの工夫がやっぱり要るのかなと思うんですけど。例えば配るタイミングを、中学校の方は三者面談があるから、配付するんじゃなくて、三者面談のときに1つの資料として渡してくださいとか、例えばほかにふと思うことと言えば、通知表は見ましたということで保護者のサインとか何か書いたりしますけれども、例えばそういうことをすればある程度の定着、見ていただけるのかなと思ったり、ちょっといろいろな工夫があるような気もするんですけども、そういうことを学校にお願いするような予定とかあるのかどうなのかというようなことをちょっと教えていただきたいと思います。

○事務局 やはり今年度は、一番、裏面の保護者の皆さまへというところの内容について少し読まなくてはいけないんですけども、保護者の皆さまへというようなそのメッセージ性をやはり伝えたいというところで、そこを工夫しております。QRコードを載せておりますので、そのQRコードを読み取っていただいて、その先のところにも結びつくということ、あと、広報の仕方ですけども、中学校でしたらその面談のときに間に合うようでしたら1つの方法、手だてだと私も感じますし、あとは、本当にホームページも、高砂教育ネットワーク、ホームページに載せても、今でも「ホームページ見てないよ、みんな」というふうに言われますので、そうなれば、ちょっと子供に黙って渡すのではなくて、やはり一言、家の人にも、これ、大事だから見てもらわないといけないなと思うような声をかけて、渡してもらうほかのプリントとはちょっと重みが違うよというところを意識して働きかけてもらうというようなことは、こちらでの校長会を通して、また校長先生に周知していきたいというふうに考えております。

○委員 せっかくいいものができて、お金もかけて、労力もかかって、本当にうまく伝えるのはね。本当に役に立つデータをつくっていただいていると思うので、何とかね。つくって終わるのはもったいないですよ。その辺とか、保護者の手元、あと、子供たちはもちろんそうですけどね。見ていただけたらいいなと思いますので、その辺、よろしくお願いします。

○教育長 予定として配付するタイミングはいつ。12月20日となっていますけれども、予定としてはいつに保護者の手に渡るようなことは。

○事務局 12月の中旬ぐらいで。

○委員 先ほど三者面談に間に合わそうとすると微妙なところですね。多分これもそうだけど。12月の第1週、1桁だとまだセーフで。もし業者さん、そのいつかで全然ちょっと違うわけだしね。

- 事務局 分かりました。
- 教育長 何か御意見ございますでしょうか。
- 委員 ちょっとさっきの話を聞いていて、前々から思っていたんですけど、やっぱり内容がいいですね。これ、ちゃんとずっと見れば納得するところもあるし、面白いとか、なるほどというところがいっぱいあると思うけど、果たしてこれを親が、これに限らずふだんのプリントでもそうだけど、読んでいるかということ、これ、私のところでも家内がそれを細かく目を通して読んでいるかといったら、ちょっと自信ないんですね。ただ、子供と家読みたいな、一緒にして何か書いて出すものがあったら、内容も分かっておかないと書けないしみたいなので、その子供が読んでいる本を読んだりもすると思うんですけど。例えば通信簿なんかサインがあったら。通信簿は見ますけれどもね。
- そういう形で、これに限らず、何か見ましたよみたいなの、そんなサインただけで終わりなんだけど、ちょっと意識が変わると違うかなと思うんですけど。内容の精査はもちろん大事なんだけど、いかにちゃんと目を通してもらうかという、そこの手法をちょっと高砂市でしないと、いいものを作っているのに、何か、これ、僕の悲観的な考えかな。見てないと思うんですね、そんなの。その意見を集めるのもまた大変だから、そんなアンケートみたいなの、そんなことをする必要もないと思うんだけど、何か簡単なことでそういう。子供から一言、「ちょっとお母さん、ちゃんと見てな。ほんで、見てサインして」みたいなの。それをちょっと言ってもらうとか、見てもらう手法というのも考えていったらいいんじゃないかなと思うんですけど。特にこれ、保護者の皆さまへと書いているこんなところなんかちょっと読んでもらったら、次のそういう運営協議会とか何か業務するときなんかでも、あ、あの書いてあったのはこういうことなんだなというので、また理解もされやすいと思うし。今の神尾先生の話聞いていてちょっと思いました。
- 事務局 まだはっきりと決まってないんですけども、スクリレというソフト、指導主事の情報担当のほうが、今、加古川市のほうではそれが入っていて、案内プリント、学年だよりとか、そういうものがスマホに全部文書、紙じゃなくて、全部届くんです。私も実際、今、加古川で、それがスマホに届いてきますので、そういうのも指導主事と相談しながら入れられたらいいねと言っていますので、それだったらまたより身近に手元に情報が届いてくるんじゃないか。そこでもちょっと検討させていただきます。
- 委員 これ、数字を出すというよりも、今、高砂の小中学生はこういうところが得意で、こういうところが苦手なのでこう取り組んでいますとかいうのを、広報のところ、いたたいているページの中で、特に生活習慣のところなんかは、毎日食べている子と食べてない子がこんなグラフ、一部だけ出すとか、何かそういうのって地域全体で取り組んでもいいのかなと思うんですね。おじいちゃん、おばあち

ちゃんたちもいるわけですし。何か親だけというよりも、今は地域全体で育てようとしているので、地域全体にも御理解いただいて、おじいちゃん、おばあちゃんにもちゃんと、遊びに行っても、「ゲームばかりしてないで。今日の宿題済んでるの」ぐらい言っていただけるような空気感が要るのかなと思いますので、何か数字を出すんじゃなくて、こんなことを取り組んでいますとか、こういうことが意外と学校の勉強に関わってくるんですよみたいな、睡眠時間とかね。何か計画を立てるとか、そういうことを何かちらっと言っていくことで、全体に、周り全体から子供の環境をよくしていくということもできるんじゃないかなと思うんですけれども、そんなことも考えていただけたらありがたいと思います。

○事務局 本当にこちらとしましては、学校のほうがどのようにまた地域、保護者に訴えていくかという面もあるんですけれども、こちらもやはり広報としてこういうリーフレットができましたら、何部かは高砂市のリーフレットを差すところとかにも置きますので、こちらもやっぱり地域の方にどのような啓発的なリーフレット、これを作ってだけじゃなくて、そのタイミングタイミングに応じて少し簡単な案内文みたいなものができればいいですし、やっぱりこちら、すぐホームページと言ってしまいうんですけれども、そういうところも含めて、今、委員のおっしゃっていることは、本当に学校と親だけじゃなくて、ちょっとやっぱり地域にどんどん入っていきましようというような形になっていますので、地域の方のちょっと声かけ、つながりも持てるような取組ということも本当に考えていけたらと思います。ありがとうございます。

○委員 すいません。今の地域の自治会館とかそういうところにも置く予定とかはあるんですか。

○事務局 そこまで部数があればですけど、どれぐらい部数が残っているか、ちょっと今、すいません、はっきりと。でも、例えばみのり会館とかその公民館とか、そういうところですよ。そういうところにも置けるのでしたら、何部か置いていけば、地域の方が目にすることはできると思いますので。

○委員 あとは、掲示で、裏表でね。A3二枚分のスペースがあれば、リーフレットで置くと5冊、10冊要るけど、掲示していただければ違うかなと思う。

○事務局 確かに。表面に「家庭や地域と連携した」というふうに書いてありますので。

○委員 地域でしていただくには、自治会館とかそういうところを使うのがいいかなと思いますので。

○事務局 ありがとうございます。

○教育長 このリーフレット、教育委員会と学力向上対策会議の両方の思いをここに、保護者の方にお届けするという形になっております。学校現場のほうで、例えば校長先生の出されている学校だよりも、「今日、子供さんを通じて『未来に向かって進む高砂市の子どもたちの育成のために』というリーフレットを持って帰っていただきました。おうちで見ていただいて、家庭での生活習慣についてもう一度お話

ししていただければありがたいです」とか言ってメッセージを送って、子供たちには、「あれを見て何かお母さん言ってたか」と言って担任が声かけをすとか、そういう意識を現場の先生も持っていただくということが大事なかなと思いますし、これは市全体のものですけれども、学校によってはすごくこれとは違う数値が出るというか、朝食を食べている子の割合がすごく高いとか、または、成績によって数字だけやられていますけれども、全国よりもかなり増えたというところもありますので、うちの学校ではこういうところが課題です、うちの学校のこういう取組をしてこういう成果が出ましたということも学校だよりに載せていただいて見ていただく。子供たちにも、「みんなが頑張ってるこんな話合い活動を頑張っているから、こういうことで6年生の皆さんが頑張ってる成果が出てきたよ。去年よりもずっとよかったよ」とか、数字だけに目を向けてしまったら駄目だと思うんです。そういう子供たちへの励ましのメッセージというか、子供たちが自信を持って、「頑張ったらできるんだ。僕、もっと頑張ろう」というふうなことにつながるような働きかけを担任がして、学校の校長先生が学校だよりでメッセージを送るとかしていただけるようにと考えます。学校と、保護者や子供とつながっている場でありますから、教育委員会だけが学校を通してメッセージを送ることもやっぱりある意味必要だと思いますけれども、それだけじゃなくて、連携してやっていくということも大事なことだと思いますので。

次回の園長校長会等もありますので、多分、学校教育課長はその辺のことはしっかりと伝えていきたいというふうに思っていると思いますので、これは教育委員会からのメッセージじゃなくて、教育委員会と高砂市の学力向上対策会議からの保護者へのメッセージで、私たちも頑張ります、保護者の方も一緒に協力してやりましょうというものになるように努めてまいりたいと思います。よろしくお願ひいたします。

○委員 ちょっといいですか。最後に、ぜひ、この3ページ目の生活質問用紙の調査のあたりなんていうのは、幼児教育のほうでも、小学校へ行ったらこんなことに取り組んでいますよみたいなことをお母さんたちにちょっと伝えておいていただくとありがたいなと思うんですね。毎日朝食を食べるとか、睡眠時間のこととか、それから、何か計画を立てて生活するとかというのは、もう5歳児なら入ったらすぐこういうことをするわけですから、何かそういうことをお母さんたちに伝える機会があったら、よろしくお願ひしたいと思います。

○教育長 そういうことも視野に入れて、今、委員さんが言われた5歳児、次に小学校へ入学してくる子供さんの御家庭に向けての何かメッセージ的なものが考えられたら、課題ということでもしていただいたらと。
そしたら、これについては、たくさんの方の御意見をいただきましたので、そうした形でこのリーフレットの、1つは配付するタイミングであるとか、また

は、どういうふうに伝えていくかということも御意見いただいていますので、またちょっと考えていただけたらと思います。よろしくお願いします。

議 事 報告事項 2 高砂市就学前教育・保育の計画について

- 事務局 (報告事項2について説明)
- 教育長 説明いただきました。3・4・5歳児は以前に、令和2年末に改訂して御意見もいただいて、今回は0・1・2歳児の改訂版について報告いただいたという、そういう理解でいいですかね。
- 事務局 はい。
- 教育長 ということですので、それについてまた何か御意見とか。
- 委員 すごく細かく丁寧に作ってくださっていて、ありがとうございます。今おっしゃっていましたが、ぜひとも私立のほうにもこれを参考にさせていただきながら進めていただければと思いますので、よろしくお願いします。
- 教育長 民間の幼児教育施設についても、この計画については参考にとということで配付はさせていただく予定はあるんですか。配るというか。
- 事務局 そうです。以前、28年の3月に改訂して内容を検討した分も民間園には配付させていただいて、今ちょっとアドバイザーの先生と民間のほうにも訪問事業を行かせていただいているんですけども、お聞きしたら、公立でつくらせていただいているこの指導計画を基に、民間園のほうでも年間の指導計画とか月の指導計画とかを作成されているということをお聞きしています。
- 教育長 民間園にこういったことを参考にとということでお示ししたときの反応をお聞かせいただきましたけど、もう1回ちょっと言っていただけますか、今のこんな反応だったという。
- 事務局 今年から民間園のほうに訪問事業として行かせていただいています。その中で、指導計画についても園長先生のほうにお尋ねさせていただきましたら、28年のときのその改訂の保育計画を参考にしながら指導計画をつくられているということでしたので、今回改訂させていただいたときには、また民間園のほうにも周知していきたいと考えています。
- 教育長 ありがとうございます。ほかに何か御意見ございますか。よろしいですか。そしたら、また今回も民間のほうとの連携も意識しながら、またよろしくお願いします。

議 事 報告事項 3 令和4年度(令和3年度対象)高砂市教育委員会点検・評価報告書について

- 事務局 (報告事項3について説明)

- 教育長 全体的な説明と、あと、基本的には、あとずっと個別のものもありますけれども、自己評価をしたものについて、学識経験者の方にコメントをいただくという形の、今までどおりの形になってますけど、何かお気づきの点がありましたらお願いいたします。
- 例年指導をしていただいて、委員の皆さんの御意見を聞いていきたいとあるんですが、甘いんじゃないかという厳しい御意見をいただくことが多いんですけど、今回どうでしょうか。
- 委員 Bがあって、何がBかなと思って見させていただいたら、気になるのは、教職員の人権意識高揚と指導力向上、ここがBなんですよね、Bの2つのうちの1つは。それ、ちょっと、少し甘いかなと思う評価の中でBがついているので、これ、どうなのかなと思って見させていただいているんですが。その後の20ページには、総合評価で反省・課題・改善という項目があって、そこには言葉はあるんですけど、具体的に、それならば、内容が内容でもあるから難しいと思うんですけど、どうやって改善するのかというところがちょっとあまり具体的に見えなくて。でも、これ、大きな課題だと思うんですね。ここにBがついているということは問題だな、課題だなと思うので、ここを効果的に具体的に何かやっていかないといけないのかなとふと思っています。どうなんですかね、この総合評価。
- 事務局 20ページを御覧いただいて、B評価、総合点が9点。その9点になっているのが、上の評価項目の⑤番の有効性のところが1点になっているというところで、それも令和3年度中、その説明を書かせていただいているんですけども、やはりコロナウイルス感染症感染拡大防止のために結構な研修会が中止となって、思うように研修が行われなかったという点で、ちょっと2ではなく1になっておりますので、そこは、このコロナ感染症が落ち着いてまた研修会が少し従来どおり戻ってくれば、そこがまた上に上がってくると思いますので、また評価のほうは改善されていたと考えていますので、今回このBになったのは、その研修会が開催されたかされてないかというところが大きいところで。
- 教育長 これでは教職員の人権意識が低いからBとかじゃなくて、人権意識高揚のための実施事業の評価がコロナのためにという御説明があったわけで。
- ここは、児童生徒の全国学力・学習状況調査の中の自分によいところがあるかというところも全国よりもちょっと低いので、やっぱりこれからしっかりと取り組むべき課題であるということもこの評価につながっているのかなと私は理解しましたけど。
- このほかに何かございますでしょうか。
- 委員 先ほどの評価のことで、ぱらぱらとめくると、Aは、10点でAがほとんどなんです。10点というのは、4段階評定の2に丸がついてるのが2点と。それが5つあって10点ということで、何かぱらぱらとめくるとほとんどそのパターンで。評価の仕方というのは、例えば5段階にするとか、例えばちょっともう少し評価の、

S、A、B、Cですか。それが割ったり振ったりするのかなど。やっぱりばらつきがあったほうがいいのかと違うのかなというふうに。ほとんどがAで10だったら、何か評価としてどうなのかな。評価の仕方としてね。というのは何か素直にちょっと思うんですけど、どうなんですかね。

○教育長 4段階じゃなくて、もう少し、5段階とか増えたほうがいいんじゃないかということですか。

○委員 はい。

○教育長 委員さんからも、最後の95ページの文化財の活用について御意見いただきましたけど、そのことにつきましてもまたちょっと、その提示がないかというところをまた今後の課題として考えていただきたいと思います。

ほか、なければ。

そしたら、この協議事項の上の教育委員会の点検・評価の報告について、今ちょっと御意見もいただきましたので、来年度に向けて、よろしくをお願いします。

議 事 報告事項 4 高砂市教育委員会事業後援・共催について

○事務局 (報告事項4について説明)

○教育長 説明は終わりました。何か御質問ございますか。

そしたら、後援の事業と共催の分、承認・決定されて、よろしくをお願いします。

議 事 その他 1 12月行事予定について

○事務局 (その他1について説明)

○教育長 説明は終わりました。何か御質問ありますか。

よろしいでしょうか。よろしくをお願いします。

令和4年11月24日 午後3時35分 教育長会議の閉会を宣告
